

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
司法・犯罪心理学			17831	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
十倉 利廣	選択	2	法務省矯正研修所長、法務省矯正局心理職（上級（甲））			

授業の到達目標

- ・司法・犯罪分野の制度及び同分野の心理臨床の領域を概観できる。
- ・犯罪原因やメカニズムに関する諸理論を理解できる。
- ・警察関係機関，家庭裁判所（少年及び家事），少年鑑別所，少年院，刑事施設（刑務所），保護観察所，被害者支援領域における心理臨床業務に関する知識を習得する。
- ・非行・犯罪に関するアセスメント及び処遇技法に関する基礎知識を習得する。
- ・この授業を通して，KAISEパーソナリティのI（知性）とE（倫理）を身につける。

授業の概要

司法・犯罪領域における心理臨床の理論や業務を理解するために，犯罪・非行，犯罪被害及び家事事件についての基本的知識を身につけるとともに，司法・犯罪分野の問題に対して必要な心理に関する支援についての基本的知識を身につける。

授業計画

1. 司法・犯罪心理学の基礎知識
2. 犯罪心理学理論の進展 1
3. 犯罪心理学理論の進展 2
4. 各種犯罪 1（窃盗）
5. 各種犯罪 2（薬物犯罪）
6. 各種犯罪 3（性犯罪）
7. 各種犯罪 4（暴力犯罪）
8. 捜査心理学 1（プロファイリング）
9. 捜査心理学 2（虚偽検出，証言）
10. 精神鑑定
11. 家庭裁判所における心理臨床
12. 少年鑑別所における心理臨床
13. 少年院・刑務所における心理臨床
14. 犯罪被害者支援
15. まとめ及び試験

授業の方法

講義を中心とする。

準備学修

webで参照すること。

課題・評価方法

適宜レポートの提出を求め，講義の中でフィードバックを行う。
平常点70%，定期試験30%

欠席について

原則として，欠席数が5回を超える場合は成績評価対象外とする。

テキスト

毎回講義資料を配布する。